757

(2) どんな病気なの?

正式名称を「伝染性膿痂疹」といい、細菌に感染し たことで発症する皮膚の病気です。原因となる細菌 によって「水疱性膿痂疹」と「痂皮性膿痂疹」の2種 類に分かれます。どちらも水ぶくれやただれ、強い かゆみがあり、患部を掻きむ

しった手で体のほかの部位を 触ると、火が飛び散ったように 全身に発疹が広がります。



水疱性膿痂疹。鼻の中やのど、皮膚、便などに常 在する黄色ブドウ球菌を原因とする伝染性膿痂疹です。 虫刺されやあせもなどの掻きこわしからも発症します。

痂皮性膿痂疹 溶連菌の一種であるA群β溶血 性レンサ球菌を原因とする伝染性膿痂疹です。水疱 がかさぶた状に変化し、うずくような痛みを伴います。

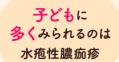
とひび(伝染性膿痂疹)の特徴

かかりやすい 時期	かかりやすい 年齢	感染経路	感染力	潜伏期間
6月~7月	7歳未満	接触	自	2∼10 B

アトピー性皮膚炎の子どもは特にかかりやすいので注意して!

? どんな症状がでるの?

体に菌を含んだかゆみのある赤い水疱ができます。この水疱が破れると皮膚がただれた状態になり、その水疱を掻いた手を介して体のあちこちに菌が広がり、あっという間に全身に大小さまざまな水ぶくれができます。痂皮性膿痂疹はリンパ節が腫れたり、発熱やのどの痛みなどの症状が現れることも。





水疱性膿痂疹



痂皮性膿痂疹

とびび(伝染性膿痂疹)にみられる症状

- □ かゆみを伴う水疱がある
- □ 水疱が潰れて皮膚がただれている
- □ 水疱が黄色味を帯びたかさぶたに変化した

上記の症状がみられたら感染の可能性があります!保育園や幼稚園の登園は控え、皮膚科もしくは小児科を受診してください。

すぐに病院へ



● 合併症にも要注意!

ごく稀に黄色ブドウ球菌の毒素が血液中に入り込み、 全身の皮膚がやけどのようにむけてしまう「SSSS(ブド ウ球菌性熱傷様皮膚症候群) を発症することがあり ます。SSSSは発熱に始まり、口や鼻、目の回りが赤 くなり、水疱や目ヤニ、わきの下や首の回りが腫れる などの症状が現れ、次第に全身の皮膚が赤くむけて きます。治療には抗菌薬の内服や点滴が必要なので、 症状が現れたらすぐ受診してください。

1 治療法

抗菌薬の塗り薬と内服薬が病院から処方されます。 患部に抗菌薬を塗った後は掻きむしらないように ガーゼなどで覆ってください。ガーゼはこまめに交換 して清潔にしておくことが大事です。通常は1週間ほ どで治りますが、症状が重い場合は点滴注射を投 与することもあります。



(a) ホームケアのポイント

水疱ができたら

水疱を掻きこわさないように ガーゼなどで覆ってください。患部を洗うときは、よく 泡立てた石鹸で優しく丁寧 に。感染後は皮膚を触らないように注意してください。 **絆創膏**は 菌の増殖の 原因になるので 貼らないで!



保湿ケア

皮膚は乾燥するとかゆくなるので、日ごろから肌を清潔に保ち、ワセリンなどを塗って全身の保湿ケアを心がけてください。また夏場はあせもから発症することもあります。汗をかいたらこまめに拭き取ってあげましょう。

虫よけ対策

とびひは虫刺されから発症することもあります。外出時は虫よけスプレーを携帯しましょう。もし虫に刺されたら、患部を水で洗い流し、冷たいタオルなどでかゆみを抑えてあげてください。またダニなどの発生を防ぐためにも、室内はこまめな掃除を心がけて。

外出時は **虫刺され**に 注意して!



保育園や幼稚園はいつから通える?



登園の目安は4~5日後

感染が広がる可能性があるので、 しっかり治ってから登園しましょう。



家庭内感染を 防ぐためのポイント

とびひは子どもも大人も感染する病気です。家庭内で 感染しないようにしっかり対策しましょう。

① 手洗い

帰宅後や食事の前は石鹸で手を洗ってください。また子どもが掻きこわさないように、日ごろから爪を短く切るなど対策しておきましょう。

爪は短く 切っておく!



2 家族間の共有は避ける~

治るまでは プールも我慢!

タオルや衣類などから感染することもあります。家族間の共有は極力避けてください。入浴も家族が入った後、シャワーを浴びるくらいに留めましょう。

